

新東名高速道路静岡SASIC※隣接地の中継拠点整備によるオープン型中継輸送プラットフォーム構築

協議会名:新東名高速道路静岡SASIC活用中継輸送プラットフォーム推進協議会

※静岡SAスマートインターチェンジ

協議会構成員
静岡市、鈴与カーゴネット株式会社、
滋賀運送株式会社、株式会社鈴与カーゴネット焼津

【事業実施背景】

関東圏・中京圏・関西圏を結ぶ東西間輸送は長距離の陸送に依存しており、輸送の持続性やドライバーの労働環境に深刻な影響が生じつつある。静岡市は東名・新東名高速道路が通る交通の要衝であり、新東名高速静岡SASIC隣地に長距離輸送会社が広く利用可能なオープンな中継拠点を整備し、ドライバーの労働環境改善や環境負荷削減に取り組む

事業内容

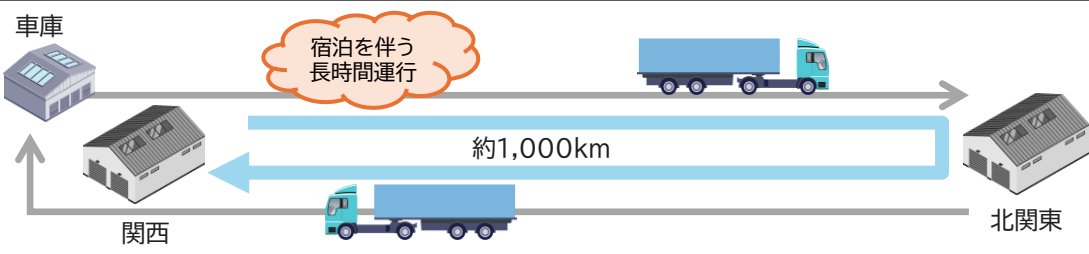
Point



新東名高速道路静岡SASIC隣接地にオープンな中継拠点を整備し、長距離輸送の中継輸送化への促進を通して、ドライバーの労働環境改善、環境負荷軽減および安定的な輸送供給の確保が可能

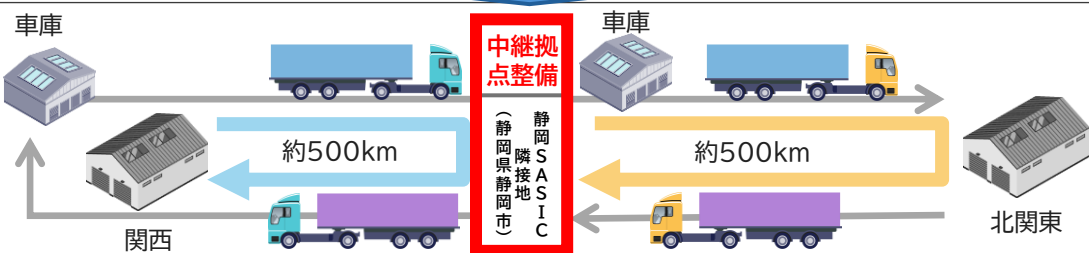
事業実施前

例.関西⇔北関東間の輸送を行う事業者の場合



事業実施後

- 事業対象
- 1.マッチング輸送
 - 2.内回り型中継輸送
 - 3.外回り型の待合所
 - 4.静岡県物流事業者



想定事業実施効果

【事業実施による効果および目標】

- 中継輸送を軸とした運行の組み替えにより、宿泊運行の削減、ドライバー拘束時間の短縮、実車率・往復率の改善を促進
- 中継拠点を活用した輸送調整力の向上により、輸送効率改善に伴うCO₂排出量削減を通じて、環境負荷の低減に寄与

ドライバーの拘束時間

13時間以内
/運行

CO₂排出量の削減

15%削減

※そのほか、実車率、利用事業者数等の評価指標も把握する。